

—ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかりやすい授業づくり」—

授業の「スタート」を大切にしよう！



葛南教育事務所では、令和3年度葛南教育事務所重点目標の一つとして、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた『わかりやすい授業づくり』」を掲げています。今回は、わかりやすい授業づくりのポイントとして、授業の「スタート」について考えてみます。児童生徒だれもが、わくわくしながら、意欲的に気持ちよく授業をスタートできるような状況を工夫してみましょう。

Point 1

～授業で使う道具を整えよう～

道具の準備や確認を忘れてしまう子ども、前時の道具を出したままの子ども、道具を出したけれど整えて置くことが苦手な子ども…いませんか？

やる気がない、努力が足りないのではなく、やろうと思ったことをすぐに忘れてしまったり、他のことに気を取られやすかったり、机上の空間の位置関係を捉えることが難しかったりするからかもしれません。



★授業の終わりには、使った物を全て片付ける確認をしましょう。

★次の時間に使う道具を視覚的に示し、授業の始まりには、全員の机が整っていることを確認してからスタートしましょう。



★訪問した学校の中には、このような提示をしているクラスがありました！



★カードを作り、日課表や黒板に提示をしている学校もありました！

Point 2

～皆が答えられる発問から始めてみよう～

★全員が「わかる!」「できる!」ような、簡単な発問から始めてみましょう。「正解した!」「できた!」という気持ちが、授業に前向きに取り組む姿勢につながるかもしれません。

★挙手できることで、主体的に授業に参加する姿勢を促すことができます。授業の始めには「yes/no」で答えられるような発問、選択肢から選んで答えられるような発問をし、簡単に挙手できる状況を作ってみてはどうでしょうか。発表することが苦手な子どもでも、答えやすくなります。



Point 3

～心と体をほぐそう～

★授業のスタートには、必ず全員の子どもを見渡して、「疲れていないかな?」「気持ちは落ち着いているかな?」…と、子どもたちの表情や姿勢を確認しましょう。

★時には、少し体を動かしたり、くすくすと笑える小話をしたりして、心と体をストレッチしてみてもよいかもしれません。

